

AIを活用した衛生的で快適なユーザーインターフェース ～「非接触・非装着UI/UX」のモジュール提供を開始～

弊社のAI開発事業の主サービスとして、下記ポイントを満たした新しいUI開発サービスを当月より開始します

■ポイント

1. 低コストを実現
2. 既存システムにシームレスに連携可能
3. 幅広い分野で応用可能

1. 低コストを実現

実社会の様々な場面において実用可能な水準で、一般的なコスト以下にて当サービスをご提供します。低コスト開発が可能な理由のひとつとして、AI技術を汎用的なプロトタイプ(モジュール)にパッケージ化しており、個別案件への対応を迅速に行えるため、少ない工数で実装できます。



2. 既存システムにシームレスに連携可能^(※)

汎用モジュール化しているため、任意のOSS・API・プロトコルを使用している既存システムとの連携が容易です。例えば、既存システムのUI部分のみを非接触・非装着型にするなどが可能です。

※OSS:オープンソースソフトウェア。C,C++,Python,Javaなど世界中で広く使われているプログラミング言語

3. 幅広い分野で応用可能

一般的なオフィス以外にも、不特定多数の人が衛生的に利用できるため商業施設や公共施設などで有用です。手が汚れて画面に直接触れることを避けたい、医療現場や生産現場などで有用です。

■非接触・非装着のメリット

現在多くの場面ではキーボードまたはマウスで画面操作することが一般的です。キーボードやマウスを使わない方法としては、タッチパネルディスプレイという選択肢があります。画面に触れない方法では、ウェアラブル端末を手や腕に装着するという選択肢があります。しかし、手が汚れている状況で画面を汚したくない場合や、不特定多数の人が利用する状況でウェアラブル端末を装着する手間を除きたい場合があります。昨今のウイルスから身を守るための衛生管理にも効果的です。さらに、ハード機器のメンテナンスコスト(清掃・電池/部品交換など)を大幅に削減できるメリットがあります。

■背景

AIはビジネス規模に関わらず、また、どのような分野におきましても有用な最新技術です。しかし、実際に導入する際にはコストがボトルネックとなっています。画像系AIの開発コストはPoC(概念実証)段階・本格導入段階・保守運用段階におきまして大きなコストが必要です。現在の一般的な相場では、トータルでは数千万～数億円規模になります。そのようなコストが投入できるのは事実上、大企業や専門の研究機関に限られます。弊社の社会的な役割として、AIを社会の隅々に届けることを掲げています。そのためには、AI開発の低コスト化が必須と考え、研究開発を進めて参りました。AIの社会実装が加速するために、弊社が社会にお役に立てることを目指しております。

【お問い合わせ先】

株式会社ショップパートナー

所在地:神奈川県横浜市中区桜木町2-2 港陽ビル4F

TEL:045-550-3463(9:00-17:00)

HP:<https://shoppartner.jp>

←実際にUIを操作する動画を弊社Webサイトにて公開しています

担当者:澤井賢二 (メール:sawai@shoppartner.jp)